

事務事業評価票〔市単独補助金〕

令和 5 年度

		担当課		環境課			
基本事項	補助金（事業）名	有明町海と川を守る会補助金				整理番号	1003
	根拠法令等	島原市環境関係団体等補助金交付要綱				実施を義務付ける規定	☐ あり ☒ なし
	関連する市勢振興計画の基本計画	目標	基本目標2 安全安心で住みよいまちづくり	予算科目	4 款 1 項 2 目	☒ 継続 ☐ 新規	
		施策	施策2-2 環境にやさしく暮らすまち	区分	団体の運営費に対するもの		
事業概要等	補助金交付の対象（団体名等）	有明町海と川を守る会				実施期間	始期 平成 4 年度から 終期 今後も引き続き助成 年度まで
	事業の背景及び概要（現状、課題）、または交付団体の活動目的、活動内容など	・「生命と自然と生活を守る」ため、環境保全運動に対する具体的実践行動の重要性を広くPRするための会 ・EM活性液の放流 ・環境ポスターコンクール（有明地区小・中学校を対象）					
	目指す成果 （交付対象団体等をどのような状態にしたいのか）	ポスターを描くことで環境への関心を高め、学校等における環境教育に資するとともに、地域での環境活動に取り組む子供たちの育成を図ることを目的とする。 EM活性液放流による湯江川水質改善など。					
	補助金交付内容等 （積算基礎等）	・定額補助					
事業費等の推移	年度		31 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
	区分		実績	実績	実績	実績	予算額
	補助金交付額(千円)		270	270	257	257	257
	① 団体等事業費(千円)		322	255	258	259	310
	② 歳入内訳(千円)	会費等	8	8	8	8	6
		前年度繰越金	55	11	34	41	47
		市補助金	270	270	257	257	257
		その他の助成金					
		その他雑収入					
	次年度繰越金(②-①)		11	34	41	47	—
4 年度の当該団体等の事業費の主な内訳（市補助金が充当されていると思われるものから順に記載）（単位：千円）							
項 目		金 額	項 目		金 額		
環境ポスターコンクール		224					
EM放流		34					
補助金の使途についての特記事項等							

○視点別分析		
視 点	現 状 分 析	説 明
① 助成事業の効果	☒ 意図した効果があがっている ☐ ある程度効果がある。 ☐ あまり効果がない ☐ 分析できない ☐ 事業効果は後年度	環境ポスターコンクールを通して、小・中学生が環境問題について考える機会となり、自分たちにも関係してくるということの認識ができています。
② 市の関与の必要性	☒ 必要性は薄れていない ☐ 少し薄れている ☐ 薄れている ☐ 不明 ☐ 該当しない	主な財源は環境関係団体補助金が占めているため市の関与は必要
③ 団体の事業内容や助成の在り方等の見直しの必要性	☒ 見直しの必要はない ☐ 検討の余地はある ☐ 見直しの必要あり	環境ポスターコンクールは、小・中学生に環境問題について考えもらう良い機会となっており、今後も継続して行うべきである。
○総合評価と今後の方向性		
総 合 評 価	判定	☒ A 継続(特段の見直しは行わない) B 見直しのうえで実施 ☐ B1 事業規模の拡大 ☐ B2 事業規模の縮小 ☐ B3 事業内容の改善 ☐ B4 その他の見直し ☐ C 休止(隔年実施など) → () ☐ D 廃止(終期の設定も含む) → () 休止・廃止の具体的な方向性
	判定理由	今後も環境ポスターコンクールを通して、小・中学生が環境問題について考える機会を与える必要があると思われるため、今後も継続して行っていく必要がある。
今後の課題と見直しの方向性(総合評価判定がB1～B4の場合)	課 題	
	見直しの方向性	

判 定	B4見直しのうえで実施 ⇒ その他の見直し
備 考	児童・生徒の環境教育、河川の水質向上に寄与している。繰越金の増加が続いていることから、補助金の返還とあわせて補助金額の減額の検討をお願いしたい。

判 定	
備 考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況 (☑)	
☐ 補助額の削減 ☐ 補助額の増加 ☐ 補助の休止若しくは廃止 ☒ 現状維持 ⇒ 予算措置額の増減 0 千円	
備考	